

クッキー缶で室蘭案内

スターマリンとナニナニ製菓発案

MURORAN



いくつかの候補から選ばれる完成イメージ図

室蘭の絶景をPRするクッキー缶の共同開発が進んでいる。メンバーは、室蘭の魅力を発信している写真家や清水丘高校の商品開発部、観光船事業「スターマリン」（祝津町）、焼き菓子とパンの店「ナニナニ製菓」（中島町）。ゴールデンウィーク前の販売を目指し、試作・製造を急ぐ。（小笠原皓大）

高校生と写真家も アイデア出し合う



共同開発メンバー（提供写真）

発案は2023年。スターマリンの伊藤京香代表取締役とナニナニ製菓の庭山貴行・なを夫妻が「室蘭の景観をもっと多くの人に知ってもらいたい」と話したのがきっかけ。同店と「室蘭をモチーフにしたスイーツ作り」を行う、商品開発部の高校生4人や写真家も加わった。

本格的な商品開発に向けた初顔合わせが6日、スターマリン本社であった。それぞれ自己紹介をした後、クッキー缶のモチーフ（白鳥大橋、イルカ、大黒島など）やパッケージについてイメージの意見交換を行った。

庭山貴行店主は「写真家の感性と高校生のアイデアを融合させ、室蘭の絶景の魅力が楽しく伝わる商品を完成させたい」と話している。

ヘアドネ31センチ

登別・鷺別小4年野呂さん

2回目の協力

登別市鷺別小4年の野呂美月さんは、病気や事故などさまざまな理由で頭髪に悩みを抱える人のために、髪を寄贈するヘアドネーションに協力した。

野呂さんは、今回で2回目の寄付。知り合いや新聞の記事でヘアドネーションを知り「私も協力したい」とヘアドネーションを決意した。小学1年の夏に一度髪を寄贈した。今回はその時から今まで伸ばし、室蘭市高砂町美容室Sorace（ソラス）で31センチカット。室蘭東ライオンスクラブを通して寄贈した。

野呂さんは、母に手伝ってもらいながら洗髪や髪を結んでもらっていたと振り返り「伸ばしてまた協力したい」と話した。（石原采音）



31センチを切り、2回目のヘアドネーションに協力した野呂さん

達市自衛隊協力会の寺島徹会長が「自衛隊を誤解する人は減り、皆さんの」（渡部大成）

室蘭
問い合わせは同館、電話0143・22・1112（石原采音）
家族や関係者ら約60人

きよのせいかいとうようせい

